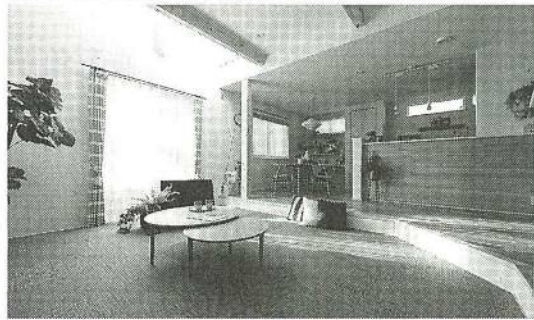


ポラス

高仕様戸建て浦和20棟

断熱強化 天然素材を活用
熱熱交換換気

ポラスグループの中央
住宅は、分譲戸建「浦和
ブライツ」(全20棟)を
格や地域の特性に合わせ



て同社の標準よりも仕様を高め、瓦屋根を用いて落ち着いた外観デザインにした。販売開始前にすでに7組の申し込み意向があるなど好調にスタートした。

浦和駒場スタジオアムに隣接した公務員宿舍跡地を開発する。埼玉県内の人気の浦和エリアでは、近隣ではまとまった敷地が少なく、全区画100平方メートル超、街並み形成など周辺に居住する20〜40代の一次取得者を中心に来場した。

高性能樹脂窓とLow E複層ガラスの採用、高性能断熱材による壁断熱の強化、オリジナルの桁間天井断熱などによって躯体の断熱性能を高めるとともに、全熱交換型の24時間換気システムを導入。高い保温性を実現した。年間光熱費は、ポラスグループの一般仕様

に比べて7万円程度、一般的な分譲住宅に比べて14万円程度少なくなるといふ。

太陽光発電などを備えるとZEHに相当する性能を持つものの、街並み形成などの観点から太陽光発電は導入せずに、設備や内装を充実した。ガスと電気のハイブリッド給湯暖房エコファンや、スマートフォンを通じて画像と音声を確認し来客対応できる外でもドアホンを採用。タイマー式の電動シャッターも備える。

リビングなど1階の床は挽き板、一部の壁は珪藻土塗り。フローリングの端材などを使った銘木レリーフや国産杉をアクセントに用いるなど天然素材を用いて落ち着ける空間に仕上げた。

キッチン通常のオープンスタイルのほか、カウンタースタイル、分譲住宅では採用例の少ないセパレートスタイル(2列配置)など棟によってさまざまなタイプを用意。リビングは、最近同社で採用例の多い小上がりとカウンタースタイルのあるス

テージリビング、ダイニングと2つの段差を設けたサンクンリビングⅡ写真Ⅱなどさまざまな提案を盛り込んだ。

認定低炭素住宅、長期優良住宅に適合。全棟構造計算によって耐震等級

3の性能を確保し、さらに地震シミュレーションによって複数回の巨大地震

の影響も調べて設計した。